

徳島^{あわ}池田から始める、
地域医療



Take the challenge.

「病」を通して「生」を診る

Diagnosing the way of life of local people through medical care.



令和6年度 にし阿波初期臨床研修プログラム

 **徳島県立三好病院**
TOKUSHIMA PREFECTURAL MIYOSHI HOSPITAL

Add. 〒778-8503 徳島県三好市池田町シマ815-2
Tel. 0883-72-1131 (代表)
Fax. 0883-72-6910
E-mail. miyoshiyouin@pref.tokushima.jp
Web. <https://tph.pref.tokushima.lg.jp/miyoshi/>



ホームページ



令和6年度

にし阿波初期臨床研修プログラム

 **徳島県立三好病院**
TOKUSHIMA PREFECTURAL MIYOSHI HOSPITAL

Welcome to

にし阿波唯一 救命救急センター 徳島県立三好病院



Greetings from Miyoshi Hospital

徳島県立三好病院からご挨拶

患者さんといっしょに
幸せを考える医療を学びませんか。

徳島県立三好病院は救急医療を中心とした急性期医療のみならず中山間地の医療とも連携し、県西部の地域医療の要としての機能を果たしています。

本院の臨床研修の理念は「病を通して生を診る」。地域住民の「病」を通して「生(活)」を診ることにて、患者さんや社会の背景を理解して、地域に根付いた医療を実践していただきます。富士山のように高みを極めるためには裾野を広くすることが必要です。それには多くの疾患を診て、知識と技術を高めるのみならず、患者さんの幸せを理解できるやさしさも必要です。

当院は多くの疾患を診ることができ、さらに患者さんの様々な問題も学んでいただけます。

是非幅広い知識や技術を習得し、患者さんのための医療を学んでいただき、裾野を広くしませんか。



徳島県立三好病院 院長
藤永 裕之

01. About Miyoshi Hospital

三好病院について

徳島県の県西部に位置する徳島県立三好病院は、1次救急から3次救急をはじめ、内科、外科、小児科、産婦人科など、多様な診療科目を有し県西部の地域医療の要です。



02. Medical Specialties and Hospital Functions

三好病院の診療科目と機能

様々な診療科目と機能を備える県立三好病院は救急医療を中心とした急性期医療のみならず中山間地の医療とも連携した医療を提供しています。



診療科目	■内科	■外科	■眼科
	■呼吸器内科	■脳神経外科	■耳鼻咽喉科
	■消化器内科	■整形外科	■麻酔科
	■循環器内科	■形成外科	■救急科
	■脳神経内科	■皮膚科	■小児科
	■緩和ケア内科	■泌尿器科	■産婦人科
	■放射線科		
機能	■救命救急センター	■地域がん診療病院	
	■地域災害拠点病院	■へき地医療拠点病院	
	■地域医療支援病院	■地域医療連携開放型病院	
	■第二種感染症指定		

07. learnings 「3」

研修の3つの学び

総合力

救急医療や、多種多様な患者が訪れる三好病院だからこそ総合力が身につく。

地域医療 マインド

医療の視点から、その地域で暮らす人々の生活を支える。

多彩な 研修プラン

全人的医療から先進医療まで、自分の目指す医療を、我がままに学ぶ。



03. Medical System

医療体制

内科、外科の他にも、地域がん診療病院として、救急医療においては、1次救急から3次救急まで受け入れています。地域の医療を支えると共に災害時や緊急時の対応にも力を入れています。

04. Emergency System

緊急時について

災害医療への備え

傷病者を受け入れる拠点病院として、備蓄倉庫や発電設備、傷病者受け入れ資器材などを備え、医療ガス設備(酸素・吸引)や非常用コンセント等を設けています。また、専門的な訓練を受けた災害派遣医療チームが、災害や多傷病者が発生した事故などの現場に迅速に駆けつけて対応します。

大型ヘリポート設備

当院では、大型のヘリポートを完備しています。夜間でも安心して離着陸ができ、自衛隊の救難ヘリも着陸可能なため、平時における傷病者の輸送、山岳救助等の他にも、災害時において拠点病院としての重要な役割を果たしています。



徳島県立三好病院
医学教育センター長
臨床研修管理委員会 委員長
循環器内科部長
蔭山 徳人

メディカルスタッフを含めた病院全体で、
研修医をサポートします。

当院の研修プログラムは、複数の病院との連携を図り、柔軟性に富んでいるため、研修医の要望に対応したプログラムを組むことができます。

また、当院は、徳島県西部圏域の拠点病院として、救命救急センターを運営しており、1次から3次まで様々な症例を経験することができます。

私たちは研修医が楽しく、切磋琢磨しながら研修を行えるよう、指導医だけでなく、メディカルスタッフを含めた病院全体でサポートします。

医師としての第一歩を、この自然豊かな阿波池田の土地で、はじめてみませんか？

06. Clinical Training Hospital

臨床研修病院

徳島県西部における公的中核病院として、県民に信頼される質の高い医療を提供するとともに、地域社会を理解し、高い倫理観を持って、医療福祉に貢献できる人材を育成します。

研修理念

医師としての人格を涵養し、医学及び医療の地域社会に果たすべき役割を認識しつつ、将来専門とする分野に関わらず臨床に必要な基本的診療能力(態度・技能・知識)を習得し、地域の一員として各職種と連携・協力しながら全人的な医療を提供できる医師を目指します。

05. Clinical index

臨床指数

急性期病院として、ICU、HCU、緩和ケア病室を含む一般病床206床を確保しており、24時間体制で患者さんの健康状態を管理、治療しています。令和4年度の平均入院患者数は1日辺り、概ね123人と病床使用率が約70.3%と病床に余裕をもった対応が行われています。

臨床指標 (令和4年度実績)	平均入院患者数 1日約123人	平均在院日数 約16.5日
平均外来患者数 1日約242人	年間手術件数 1,679件	年間総内視鏡件数 1,687件



Messages from Residents and Supervisors

先輩研修医・指導医からのメッセージ

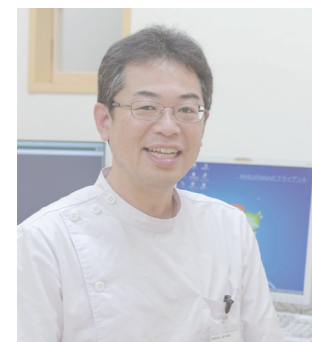
一般診療を中心に、自分に合った研修を行うことができます。

当院では県西部の拠点病院という特性から一般的な内科疾患、重症症例、一般外傷の初期対応など一般診療に必要な症例を経験することができます。研修医が少数であることから診療や手技を多数経験することができ、指導医のサポートの下、知識や技術を高めることができます。

また、研修内容は指導医の先生と決めることができるので、入院患者を中心に研修を行ったり、内視鏡など手技を中心に研修したり、自分で学ぶ時間を確保したり、臨機応変に対応することができます。気になる症例は科の垣根を越えて診ることもあります。一般診療を行う総合的な力を養いたい方、手技を確実にに行えるようにしたい方、学ばされるのではなく、自分で学びたいと思っている方は当院で研修してみませんか。



初期臨床研修医 別宮 彰起



美馬市国民健康保険 木屋平診療所長
自治医科大学臨床教授
自治医科大学地域医療 オープンラボ・アドバイザー
藤原 真治

医療人として “心が動く”現場です。

地域医療の現場に出ると、患者さんと医療スタッフとの心理的な距離の近さを実感されると思います。気さくに話をする中で、心配事の相談を受けたり、最近の出来事をお知らせ頂いたり、距離の近さゆえか、患者さんの体調が悪くなると大いに心配し、良くなった時のうれしさもひとしおで、こちらの感情も揺り動かされます。医療人として「心が動く」現場です。

現場では、患者さんの生活や、生活の場である地域社会のことが自然に視野に入ってきます。地域社会にはいろいろな方がいらっしゃいます。

複数の視点を持ち、複数の職種で協働し、日々を楽しく、時には自ら新しい医療を切り開いて実践できるおもしろさが地域にはあります。

楽しい現場へ、皆さまをお待ちしています。



Life as a Resident

三好病院での研修生活

◆徳島県立三好病院での初期臨床研修



勉強会・研修会

県立3病院をテレビ会議でつなぐグラウンドカンファレンス、研修医が症例報告を行う伝達報告会など、豊富な学習環境により、深く考える機会が提供されています。



豊富な症例経験

プライマリーケアからドクターヘリ等による緊急搬送患者の治療まで、総合的に実施し、重症度判断能力をしっかりと身につけ、考え、学ぶ場が豊富に用意されています。



資格の取得

講習費・旅費を病院が負担し、資格取得を徳島県立三好病院が最大限のサポートいたします。



サポート体制

職員一人ひとりがプロ意識を持った仲間です。様々な職種間で協働しながら、病院全体で研修医をサポートします。

◆徳島県立三好病院での生活

6:30	7:30	8:30	12:00	13:00	17:30	19:00
起床 目覚めも朝の空気がスツキリ。	出勤 1日の流れを確認。今日も気合い十分です。	救急外来 朝のカンファレンス後、上級医の指導を受けながら救急患者の鑑別診断。	昼食 院内の食堂で午後に向けてしっかりいただきます。	病棟業務 専門医、多職種と連携し治療の検討を行います。	自主勉強 業務後は医局でちょっぴり勉強、しっかり談笑。	退勤 明日に備えて、しっかり休みます。

三好市は「田舎」と呼ばれる地域ですが、生活に不便はありません。当院職員もよく利用している、周辺のお店をご紹介します。病院から徒歩圏内にお弁当屋、コンビニ等もあります!!





Program contents

プログラム内容

徳島県西部圏域で唯一の救命救急センターを持つ当院を中心に、西部圏域の公的3病院、2診療所が共同して取り組むプログラムです。広範な山間部を有し、超高齢化社会を迎えている三好の地で、地域住民の「病」を通して「生(活)」を診る、「地域医療マインド」の涵養を目指します。

◆研修科目

必修科目	<ul style="list-style-type: none"> ●内 科……24週(呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・総合診療科) ●救急科……12週 ●外 科……4週 ●小児科……4週 ●産婦人科… 4週 ●精神科……4週 ●地域医療…8週
選択科目	徳島県立三好病院13科目、徳島県立中央病院19科目、徳島大学病院22科目、諏訪中央病院総合診療科、より選択……44週 ※最後の4週間は徳島県立三好病院で研修



◆ローテート例

例1「地域医療に重点を置いたローテート例」

必修科目 選択科目

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	消化器内科		循環器内科		呼吸器内科		総合診療科		救急科		麻酔科	
2年次	外科	諏訪中央 総合診療		半田 小児科	半田 産婦人科	半田 地域医療	西祖谷 地域医療	三野 地域医療	徳大 内科	県中 精神科	緩和ケア 内科	

例2「専門医研修に重点を置いたローテート例」

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	消化器内科		循環器 内科	呼吸器 内科	総合診療科		県中 精神科	麻酔科	救急科		半田 小児科	
2年次	半田 産婦人科	木屋平 地域医療	三野 地域医療	外科	外科							救急科

◆協力病院



Application Requirements

募集要項

徳島県西部における公的中核病院として、県民に信頼される質の高い医療を提供することが当院の使命です。当院には、地域社会を理解し、高い倫理観を持って将来専門とする分野に関わらず、臨床に必要な基本的診療能力を習得できる環境が整っています。地域の一員として各職種と連携・協力しながら全人的な医療を提供できる医師を目指してみませんか？

◆令和6年度 初期臨床研修医 募集要項

応募資格	令和6年 3月医師免許取得見込者
募集人数	1年次 2名
研修期間	令和6年 4月1日から2年間
選考方法	書類審査及び面接・小論文
申込期間	定員に達次第 締め切り
選考時期	申し込み受付後に日程調整し、応募者に通知します。
提出書類	選考申込書(当院HPからダウンロード可 https://tph.pref.tokushima.lg.jp/miyoshi/)
申込方法	郵送の場合は、封筒表面に「臨床研修医」と朱書きし、簡易書留でお送りください。持参される場合は、平日(午前9時～午後5時)にお願いします。
身分	有期の常勤職員
勤務時間	1日7時間45分(8:30～17:15) 週休二日制
その他	マッチング方式により採否を決定

給 与	1年次	年額 500万円～550万円程度
	2年次	年額 550万円～600万円程度
待 遇	休日 休暇	地域手当、超過勤務手当、通勤手当、当直手当、賞与年2回含む 休日：土・日・祝日 年未年始(12月29日～1月3日) 休暇：有給休暇20日/年 夏季休暇3日ほか特別休暇あり
	社会保険	地方職員共済組合、雇用、労災、厚生年金
研修参加等	基準額内での学会・研修参加などの旅費・参加費支給あり	



提出及び 問い合わせ先

 **徳島県立三好病院**
TOKUSHIMA PREFECTURAL MIYOSHI HOSPITAL
〒778-8503 徳島県三好市池田町シマ815-2

電 話 0883-72-1131 (代表)
F A X 0883-72-6910
メー ル miyoshiyouin@pref.tokushima.jp



当院ホームページは
こちらのQRコードから
(<https://tph.pref.tokushima.lg.jp/miyoshi/>)